

気温が低く乾燥した日が続いています。2月4日は、暦の上では立春で春を迎える時期とされていますが、一般的に1月下旬から2月にかけて最も寒くなるといわれています。手洗い・うがいをしっかり行い、感染予防に努めましょう。園での急な発熱等の際には、感染拡大防止のために早めのお迎えをお願いしています。ご協力お願いいたします。

【インフルエンザ後の登園について】

発症した後5日(発症した日は0日、翌日から1日目と計算する)を経過し、かつ解熱後、乳幼児にあつては3日経過していること。



気をつけて！インフルエンザ脳症

インフルエンザの合併症のひとつで、主に5歳以下の子どもに発症します。発症から比較的早い時期に、痙攣を起こす、呼びかけに反応しないなどの意識障害の他に、急に怒ったり、怯えたり、うわごとを言うなどの言動がみられることもあります。このような症状が出たらすぐに医療機関を受診してください。

2023年シーズンの花粉飛散は？



- ・飛散開始は例年並みで関東では2月上旬に花粉シーズンがスタートする見込み。
 - ・前シーズンよりスギ花粉の飛散量は多く、関東では非常に多い見込み。
 - ・スギ花粉より1ヶ月遅れて飛散するヒノキ花粉についても多い。
- 飛散開始と認められる前からわずかな量で飛び始めるので、早めに花粉対策を始めることで症状を軽減することができます。

(日本気象協会「2023年春の花粉飛散予測(第2報)より」)

咳のかぜ、引いていませんか？

乾燥が原因の咳もありますが、ウイルス性のものは飛沫感染によって広がっていきます。咳エチケットを守り、咳が出ているときはマスクを着用しましょう。

【おうちでのケア】

咳がひどい時は、背中の下にクッション等を置くと上半身が高くなり呼吸が楽になります。



洗濯物を干したり、加湿器をつけたりして、湿度を調整しましょう。



麦茶や白湯など、刺激のない飲み物で水分補給をこまめに行いましょう。

室温管理・換気

部屋の中を温めすぎると、空気が乾燥し、具合が悪くなる事があります。設定温度は18~20℃を目安に、なるべく足元を中心に温め、上半身は温めすぎないようにしましょう。また、こまめに窓を開けて換気を行いましょう。



【2月の予定】

- 7日(火) 幼児身体計測
- 8日(水) 乳児身体計測
- 9日(木) 0歳児健診
- 16日(木) 0歳児健診

